

事務事業名		議会及び議長交際活動事務					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	6 -					担当組織	担当部	議会事務局	担当課	議事課
	政策	1 政策体系外					担当係	庶務係	担当課長名	大川俊之	
	施策	1 議会活動支援の充実					新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	1 -					実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	21	一般	1	1	1	議会及び議長交際活動事務					
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	H17年度～ 年度		根拠法令 条例等	市単独事業・国県補助事業		市単独事業			
						任意的事業・義務的事業		任意的事業			
						実施方法		直営			
						事業分類		その他内部事務事業			
						リーディングプロジェクト		該当なし			
						市長マニフェスト		該当なし			

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

①手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)											
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)			平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)								
議長等が会議、式典、大会、慶弔等に出席する際における日程調整を行い、挨拶文及び団体機関紙等への掲載文を作成するとともに、必要に応じて交際費を支出する。			・議長等の式典等出席件数 328件 ・挨拶文等作成件数 198件 ・交際費支出件数及び金額 88件 603,525円								
活動指標			単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)			
議長等の式典等出席件数			日	259	328	330	330	330			
②対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)											
市政に関係する市民、団体、企業。			対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)		
市民数(各年度4.1現在)			人	123,182	122,582	121,522					
③意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)											
市政に関係する市民、団体、企業と円滑な関係を維持し、市政の進展を図る。			成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)		
議長等の式典等出席回数			日	259	328	330	330	330			
④結果(どのような結果に結びつきますか?)											
議決機関としての権能が十分に発揮できるよう支援する。			上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)		
議員提案件数			件	2	2	2	2	2			
決議・意見書提案件数			件	4	2	3	3	3			

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)					
	国庫支出金	千円										
	県支出金	千円										
	地方債	千円										
	その他	千円										
	一般財源	千円	412	604	900	900	900					
	事業費計(A)	千円	412	604	900	900	900					
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			交際費	412	交際費	604	交際費	900	交際費	900	交際費	900
	人件費	人	3	3	3	3	3					
のべ業務時間	時間	2,028	2,374	2,390	2,390	2,390						
人件費計(B)	千円	7,891	9,356	9,419	9,419	9,419						
トータルコスト(A)+(B)	千円	8,303	9,960	10,319	10,319	10,319						

事務事業名	議会及び議長交際活動事務	担当部	議会事務局	担当課	議事課	担当係	庶務係
-------	--------------	-----	-------	-----	-----	-----	-----

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	市政施行時から
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	平成17年2月の合併により、交際の範囲、数も多くなってきている。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	市民、団体等からの会議、総会、大会、式典の出席要望は多い。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	
	政策体系外施策	理由・改善案
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	
有効性 評価	市が行わなければならない	理由・改善案 市政に関し市民、団体、企業との良好な関係を維持することにより、議会活動への理解、協力が得られ、市の事業の円滑な執行を図ることができると考えられるため。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	
	妥当である	理由・改善案 対象は市民、市内の団体及び企業なので、交際活動の対象を絞り込む余地はない。
効率性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	
	成果向上余地がない	理由・改善案 出席の要望があっても日程の重複などからやむを得ず欠席せざるをえない場合がある。その場合、副議長等が代理出席にて対応している。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	
公平性 評価	類似事務事業はない	理由・改善案 類似事務事業名
	* 類似事務事業があれば、名称を記入	
	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	
総合 評価	削減の余地はない	理由・改善案 交際費の支出に関しては、実費相当分の支出である。儀礼の範囲であり、必要最小限にとどめているため。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	
受益者負担を求める必要がない		理由・改善案 交際活動を行うにあたっては、受益者負担は発生しないが、交際費支出は公平性を保つように配慮している。
⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)		

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																					
現状維持(従来通り実施)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。																						
* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×	
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		○	×																			
	低下		×	×																			